



10月新着図書案内



下旬版

富山中部高校図書館



心はどこへ消えた？

東畑 開人 著

自分を大切にするために、大切な誰かを本当の意味で大切にするために、臨床心理士である著者は人々の語りに耳を傾けた。そこで現れたのは、命がけの社交、過酷な働き方、綺麗すぎる部屋、自撮り写真、段ボール国家、巧妙な仮病など、カラフルな小さい物語たちだった——。「心とは何か」という直球の問いに迫る。



格差と分断の社会地図

16歳からの〈日本のリアル〉

石井 光太 著

貧困・格差取材のプロである著者が、①教育 ②職業 ③性別 ④夜の仕事と昼の仕事 ⑤外国人 ⑥障害者 ⑦若者と老人 という7つの格差構造とひき起こされつつある分断を具体的に紹介。「知っている」と思っている人ほど知らない「日本社会の問題点」、そして我々がいま、何をすべきかが見えてくる一冊。

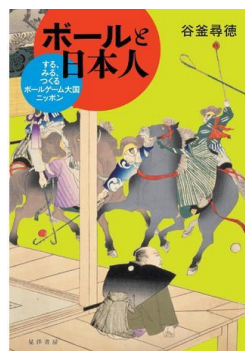


アカデミアを離れてみたら

博士、道なき道をゆく

岩波書店編集部 編

大学などの学术界から「外」に出た博士たちは、何を感じ、どう生きているのか。研究の経験は、その後はどう活かされるのか。企業の研究職から官僚そして指揮者まで、主に理系の博士号取得者たちが、酸いも甘いもひっくるめて語りつくす。



ボールと日本人

する、みる、つくる ボールゲーム大国ニッポン

谷釜 尋徳 著

日本人のボールゲームとの出会いは、古代にまでさかのぼる。する・みるボールゲームの歴史や、「昔の人はどう動いたのか?」といった運動技術、ボール職人の存在など、ボールゲームに魅せられ続けた日本人の歴史をひも解く。



月と日の后

冲方 丁 著

一族の闇、怨念、陰謀が渦巻く宮廷——。藤原道長の娘にして、一条天皇の后・彰子。父に利用されるだけだった内気な少女は、いかにして怨霊が跋扈する朝廷に平穏をもたらす「国母」となったのか。『天地明察』『光圀伝』の著者が、“平安のゴッドマザー”の感動の生涯を描く。

図書館からのお知らせ

返却し忘れた本はありませんか？
本の貸出期間は一週間です。
延長希望者は申し出てください。